

感染状況・医療提供体制の分析(11月24日公表)

【岡山県専門家有志】

詳細

(東京都統括コメント参照)



区分	モニタリング項目 ①、②は公表の前週(月～日)の合計 ③～⑤は公表の週の水曜日時点	前回の数値 (11月17日公表)	現在の数値 (11月24日公表)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	136人	130人	→	感染状況コメント レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要
		定点当たり数	1.62人	1.55人	→	
		報告数に占める60歳以上の割合	30.1%	32.3%	↗	定点当たり患者報告数は1.55人と変わらず。インフルエンザ患者数は増加(定点当24.46人)、インフルエンザ注意報発令中。 全国的にも岡山でも新型コロナ感染は落ち着いているが、インフルエンザは増加傾向。体調不良時は外出しないといった心がけや、状況に応じたマスクの適正使用が必要。高齢者や重症化リスクのある方は、重症化を防ぐために新型コロナワクチン接種が推奨される。また、インフルエンザワクチン接種も推奨される。
	岡山市保健所	0.59人	1.14人	↗		
	倉敷市保健所	1.94人	1.69人	↘		
	備前保健所	1.60人	0.93人	↘		
	備中保健所	2.58人	1.92人	↘		
	② 保健所別定点当たり患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	備北保健所	1.83人	2.83人	↗	
真庭保健所		4.00人	2.67人	↘		
美作保健所		1.40人	1.60人	↗		
医療提供体制	③ 入院報告数	79人	71人	↘	医療提供体制コメント レベル2. 体制逼迫の状態は緩和されつつあると思われる	
	④ 重症者数	0人	0人	→	入院報告数も大きく変わらず。新型コロナウイルス患者の入院は継続するも、県全体としては医療提供体制は安定している。	